

年間最優秀賞（一首）

啄木の歌に惹かれし少年が  
老いて尋ねる  
もりおかの町

長崎県大村市 鈴木 言義

年間優秀賞（二首）

みちのくに

さけのぼ  
鮭遡りくる街ありて

ぎぼし  
擬宝珠にもたれ そを見てみたり

東京都江東区 藤村 清彦

冷麵の器の中の

果物が梨にかわりて

盛岡の秋

盛岡市 小池沢 和志

年間奨励賞（二首）

青空を切れるあおぞら き 鋏で裁つごとくはさみ た

岩手の山は

凛と聳えるりん そび

盛岡市 中島 久光

もう祖母の生家なけれどせい か

冬涸れぬ大慈清水にか だいじしみず

青菜洗へる

神奈川県横浜市 伊藤 修文

平成二十七年 七月選

第七回 もりおかの短歌

年間総投稿数 一〇五九首